ｉアプリ対応ライブカメラ

Surfeel m101i

取扱説明書

はじめてご使用になる際には、本書の巻頭に記載しております『ソフトウェア使用許諾契約』および『メガチップスダイナミックDNSサービス利用規約』をお読みの上、同梱の『簡単セットアップガイド』にしたがって操作してください。

MegaChips

ソフトウェア使用許諾契約

株式会社メガチップスシステムソリューションズ（以下、「当社」）は、Surfeel m101i（以下、「本製品」）をお買い上げのお客様（以下、「お客様」）に対し、お客様が下記条項に同意されることを条件に、本製品に同封してあるコンピュータプログラム、ユーザーマニュアルならびに当社が今後提供するコンピュータプログラム、ドキュメントならびに情報（以下、「許諾ソフトウェア」）を使用する譲渡不能の非独占的使用権を、下記条項に基づき許諾します。

１．契約期間
(1) 本契約は、お客様がCD-ROMの包装を開封した時点で成立したものとみなされます。
(2) 当社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したとき、いつでも許諾ソフトウェアの使用権を終了させることができます。この場合、許諾ソフトウェアの代金は返還致しません。
(3) お客様は、上記に基づき使用権が終了した日から１ヶ月以内に、当社から受領したコンピュータプログラムの記録済みフロッピーディスクまたはCD-ROM（以下、「オリジナルメディア」）および全ての複製物を破棄しその旨証明する書面を当社に提供することとします。

２．使用権の範囲
本契約により、許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムを１台のコンピュータでのみ使用することができます。許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムをネットワークによる複数の端末で使用することはできません。ネットワークによる利用を希望する場合には、別途ネットワークによる使用許諾契約を締結するか、使用するネットワークに接続されている端末の数だけ本製品を新たに購入していただきます。

３．禁止事項
お客様は、
(1) この使用権および本契約上の地位を他の第三者に譲渡することはできません。
(2) 許諾ソフトウェアおよび複製物を第三者へ譲渡、貸与および再使用許諾することはできません。
(3) 許諾ソフトウェアの複製物を作成することはできません。
(4) 許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムを改変し、あるいは逆アセンブルその他の方法により解析することはできません。
(5) 許諾ソフトウェアに表示されている著作権、その他の権利者の表示に変更を加えることはできません。
(6) 許諾ソフトウェアの使用により知り得た当社の秘密を、正当な理由なく他の第三者に対して漏洩してはなりません。

４．許諾ソフトウェアに関する権利
許諾ソフトウェアの著作権、所有権およびその他の一切の権利は、本契約においてお客様に明示的に付与されるものを除き、当社に帰属します。

５．保証の範囲
当社は、
(1) 許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムが記録されているオリジナルメディア又はマニュアルに物理的な欠陥がある場合、お客様が本製品を購入した日から30日以内に限り、購入日を記した領収書等（写し）を添えたお客様の申告に基づき無償で交換します。
(2) 前項に定める場合を除き、許諾ソフトウェアについて特定目的への適合性、誤作動なき動作、瑕疵の修正その他の一切に関して、明示又は黙示を問わず、いかなる保証もしません。

６．責任の制限

当社は、いかなる場合であっても（また不法行為、契約その他のいかなる法的根拠による場合でも）、お客様あるいはその他の方に対し、営業価値の喪失、業務の停止、コンピュータの故障による損害、その他あらゆる商業的損害・損失等を含め一切の間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。また許諾ソフトウェアの使用許諾に基づいて当社が受領した対価を超える損害については、たとえ当社が当該損害および損失の可能性を知らされていたとしても、同様とします。さらに、当社は、第三者のいかなるクレームに対しても責任を負いません。

７．高危険度業務

許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムは、故障に対する耐性を有しておりません。許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムは、その故障が直接に人の生命、身体に対する被害、物質的もしくは環境上の被害をもたらすような危機環境下（核施設、航空機管制システム、直接に生命を維持する装置、武器システム等）（以下、「高危険度業務」）における自動安全制御機能システムの一部としての運用を目的とする使用または再販売のために、意図、設計、製造されたものではありません。当社は、これら高危険度業務に対する適合性に関する明示、黙示の一切の保証を、お客様に対する保証より除外いたします。

８．輸出

許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムは外国為替及び外国貿易管理法（外為法）に定められる戦略物資等（貨物または役務）に該当します。許諾ソフトウェアのコンピュータプログラムを輸出し又は日本国外に持ち出す場合には、外為法及び関連法規に基づく輸出手続きが必要です。

９．管轄裁判所

本契約に関して訴訟の必要が生じた場合には、大阪地方裁判所を専属管轄裁判所と致します。

１０．完全合意

本契約は、許諾ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、許諾ソフトウェアに関する従前の契約（口頭、文書の両方を含みます）に優先して適用されるものです。

株式会社メガチップスシステムソリューションズ
〒532-0003大阪市淀川区宮原4丁目1-6アクロス新大阪

メガチップスダイナミックDNSサービス利用規約

１．目的
本メガチップスダイナミックDNSサービス利用規約（以下、本規約）は、株式会社メガチップスシステムソリューションズ（以下、当社）が提供する「メガチップスダイナミックDNSサービス」（以下、本サービス）における当社と加入者との関係について定めることを目的とします。

２．加入者
本規約において、加入者とは、「Surfeel m101i」を購入し、本規約に同意のうえ当社が提供するDDNSシステムへ接続して、ネットワークカメラの利用をされる方（個人または法人及び法人とみなされる団体）をいいます。

３．本サービスの料金
本サービスは、無償とします。

４．本規約の発効
本規約は、Surfeelの当社のDDNSシステムへの接続が完了した時点より、効力を生じるものとします。

５．ユーザー名及びパスワードの管理
１）加入者は、ユーザー名及びパスワードの管理の責任を負います。ユーザー名及びパスワードの第三者への譲渡及び名義変更は出来ません。
２）ユーザー名及びパスワードの使用上の過誤や、第三者の使用による損害について、当社は責任を負いません。
３）ユーザー名及びパスワードを忘れた場合や盗まれた場合は、再度、接続設定を行ってください。

６．情報の利用
１）本サービスから得られた情報の利用については、著作権者その他の権利者及び当社の事前の承諾が必要となる場合があります。
２）本サービスの利用のため経由する国内外のネットワークについて、それぞれのルールを遵守して下さい。

７．加入者の禁止行為
１）本サービスのご利用については、以下の行為を禁止いたします。
①他人を誹謗中傷する内容、または猥褻な映像等、法令又は公序良俗に違反する画像・映像などの流布及び放映など。
②当社が承認しない営利行為を行うこと。
③他の加入者のユーザー名又はパスワードを不正に使用すること。
④他の加入者又は第三者に迷惑・不利益を与える行為、本サービスに支障を来す恐れのある行為、その他当社が不適当と判断する行為。
２）加入者が前項の定めに違反したときは、加入者に告知することなく当社の判断で本サービスの提供を停止することがあります。
３）加入者が、故意に、本サービスを運用停止もしくはそれに準ずる状態を生じさせた場合には、当社は加入者に対し、これにより被った損害に相当する金額を請求いたします。

８．資格の損失
以下の場合、当社は、本サービスを直ちに終了することができるものとします。
１）加入者が本規約の条項に違反した場合。
２）本サービスに対する妨害行為があった場合 。

９．ネットワークシステムの保守

１）各サービスを常に良好な稼働状態でご利用いただくために、以下の事項について、加入者に予めご了承いただくものとします。

①本サービスとそれにかかわるシステムの稼働状態を良好に保つために、事前に加入者にその旨を告知の上、随時その運用を一時停止させ、保守点検を行います。但し、緊急の場合は、告知することなく一時停止及び保守点検を行うことがあります。

②当社は、本サービスの運営上システムの変更が必要であると判断した場合には、事前に加入者に告知することなく、必要な変更を行います。

２）前項の場合及び不測の事故等やむを得ない理由により発生した本サービス提供の遅延又は中断等については、当社は責任を負わないものといたします。

３）当社は加入者に事前の告知をすることなく、本サービスの内容の追加又は改廃をさせていただくことがあります。

１０．当社の免責事項

１）本サービスを通じて加入者に発生した一切の損害については、当社は、いかなる責任も負わないものといたします。

２）加入者が、本サービスを通じて、他の加入者又は第三者に対して損害を与えた場合は、当該加入者の責任と費用において解決していただくものとし、当社に対し損害を及ぼさないものとします。

１１．本規約の運用及び改訂

１）本規約は、本サービスに関する当社と加入者の一切の関係に適用するものとします。

２）当社は、加入者に事前の告知をすることなく、本規約を改訂することがあります。改訂後の本規約は、加入者に告知するものとし、事後、加入者と当社の間の一切の関係に適用されるものとします。

ご注意および免責事項

・大切なデータは、定期的に保存を行ってください。万一、データやプログラムが破損しても、その補償や損害賠償などについて、当社は一切責任を負いません。

・機器間の相性問題により動作しない場合もあります。当社において動作実績のない機器を接続する場合には、お客様の責任の範囲内で行ってください。・
万一動作しなかった場合や、それが原因による損害などについて、当社は一切責任を負いません。

・インターネットなど外部からプログラムを入手される際にはコンピューターウィルスに十分ご注意ください。コンピューターウィルスに感染した場合、当社ではウィルス駆除などのサービスは行っておりません。また、その損害に対して、当社は一切責任を負いません。

・本書、および製品に付属するすべてのマニュアル、注意書きなどを無視した取り扱いによって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

・火災や地震などの天災、お客様や第三者の故意や過失による損害に対して、当社は一切責任を負いません。

・本製品を使用中、または故障による間接的な損害(会社の損失、仕事の中断、重要データの消失など)に対して、当社は一切責任を負いません。

・本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの損失につきましては、当社は一切責任を負いません。

・本製品を、法律、条例その他に違反する行為に使用しないでください。違法行為につきましては、当社は一切責任を負いません。

・本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術的サポートなどは行っておりません。

・本製品は外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定める戦略物資など(貨物または役務)に該当します。本製品を輸出し、または日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可等必要な手続きをお取りください。

・本製品は、不具合に対して自動的に対応できる機能を有するものではなく、万一不具合があった場合に、死亡、人身損害、もしくは重大な物質や環境破壊を直接もたらす可能性のある通信システム、原子力発電所の操業、航空機の航行、航空交通管制、生命維持装置、危険な環境におけるオンラインの制御装置、兵器システムあるいはそのような機器と組み合わせて使用または販売する目的で、設計、製造されたものではありません。当社は、これらに対する適合性に関する明示、黙示の一切の保証を、お客様に対する保証より除外いたします。

■海外でのご使用について

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外でご使用された場合、当社では一切責任を負いません。
また、当社では本製品に関する日本国外でのアフターサービスおよびサポート等は行っておりません。

■商標について

「iモード」および「i-mode」ロゴはNTTドコモの登録商標です。
「iアプリ／アイアプリ」および「i-αppli」ロゴはNTTドコモの登録商標です。
本製品および当社は、株式会社ドコモとは何らの関係もありません。
Microsoft 、Windows 、Internet Explorer、ActiveX technologiesは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他記載されている会社名、製品名およびサービス名等は各社の登録商標または商標です。
本書では、Microsoft Windows 98 Second Edition Operating System を略してWindows 98 SE、Microsoft Windows Millennium Edition Operating Systemを略して Windows Me、Microsoft Windows 2000 Professional Operating System を略してWindows 2000、Microsoft Windows XP Operating Systemを略してWindows XP、Microsoft Internet Explorerを 略してInternet Explorerと表記しています。

■お願い

本書の内容の一部または全部を、無断で掲載することは禁止されています。
本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
本書の内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、サポート窓口までご連絡ください。
乱丁、落丁はお取り替えいたします。

もくじ

1 はじめに

2 準備をする

3 ケータイで使う

3 ケータイで使う（つづき）

4 パソコンで使う

5 その他

1 はじめに

はじめに

この度は、iアプリ対応ライブカメラ『Surfeel m101i』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を十分に活用していただくために、「取扱説明書」(本書)、「簡単セットアップガイド」(同封)および「保証書」(同封)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとも、いつでも見られる場所に保管してください。

■特長

iアプリ対応ライブカメラ『Surfeel m101i』は、携帯電話およびパソコンから簡単に閲覧できるカメラサーバーです。

iアプリで最大3コマ/秒

FOMA900i以降の携帯電話なら、最大3コマ/秒のなめらかな映像を見ることができます。

業界初の設定レスを実現(Megachips Simple Speed Setting)
ブロードバンドルーターにつなぐだけでOK

(Megachips Simple Speed Settingとは…)

Surfeelが持つUPnP対応機能と、メガチップスが運用するダイナミックDNSサーバーへのリンク機能を組み合わせることによって、「設定レス」でSurfeelへのアクセスを実現したシステムです。

電子ズーム機能搭載(iアプリ搭載携帯電話のみ)

映像を見ながら、最大で8倍まで拡大して表示できます。

モーション検知＆Eメール送信機能搭載

映像内の動きを検知すると、自動で静止画を撮影し、撮影した画像をEメールに添付して送信します。

マイク内蔵(パソコンのみ)

映像だけでなく、音声の受信もできます。

マニュアルについて

本製品には、以下のマニュアルが同梱されています。

- **簡単セットアップガイド**
  本製品をご購入後、箱を開けてから携帯電話やパソコンから映像を見れるまでの説明をしています。
- **取扱説明書(本書)**
  本製品をご使用になられる上での規約や安全上のご注意、また詳細な設定など、大切な情報を記載しています。
- **ヘルプ**
  携帯電話の画面やパソコンの画面には、詳細な設定に関するオンラインマニュアルを用意しています。

■本書の構成について

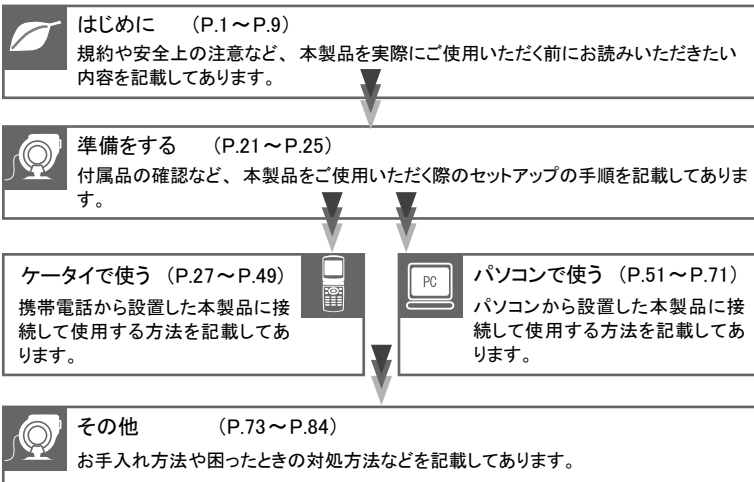
本書は以下のように構成されています。

はじめに　(P.1～P.9)
規約や安全上の注意など、本製品を実際にご使用いただく前にお読みいただきたい内容を記載してあります。

準備をする　(P.21～P.25)
付属品の確認など、本製品をご使用いただく際のセットアップの手順を記載してあります。

ケータイで使う　(P.27～P.49)
携帯電話から設置した本製品に接続して使用する方法を記載してあります。

パソコンで使う　(P.51～P.71)
パソコンから設置した本製品に接続して使用する方法を記載してあります。

その他　(P.73～P.84)
お手入れ方法や困ったときの対処方法などを記載してあります。

■マークの意味

本文中に使用しているマークについては、次のように分類しています。

マーク	意味
注意	気を付けていただきたい点、操作を行うときのポイントとなる点を記載してあります。
重要	必ず守っていただきたいことや、覚えておいていただきたいことを記載してあります。
参考	補足説明などを記載してあります。

安全にお使いいただくために

本章では、本製品を安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事項を絵表示などを用いて次のように説明しています。これらの注意事項を無視して誤った取り扱いを行わないように、十分にご注意ください。

■絵表示について

本書では本製品を安全にお使いいただくための注意事項を、以下のような絵表示で説明しています。

 危険　この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

 警告　この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 注意　この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容です。

 〈注　　意〉　この記号の中に、具体的な警告、注意を促す注意内容が記入されています。

 〈感電注意〉　この記号は、感電の可能性があることを表しています。

 〈発火注意〉　この記号は、発煙または発火の可能性があることを表しています。

 〈破裂注意〉　この記号は、破裂の可能性があることを表しています。

 〈高温注意〉　この記号は、高温による傷害の可能性があることを表しています。

 〈禁　　止〉　この記号は、してはいけない禁止事項であることを表しています。また、この記号の中に、具体的にしてはいけない禁止内容が記入されています。

 〈水気禁止〉　この記号は、水などに濡らしてはいけないことを表しています。

 〈分解禁止〉　この記号は、分解してはいけないことを表しています。

〈接触禁止〉　この記号は、特定の箇所には触れてはいけないことを表しています。

〈火気禁止〉　この記号は、火気を近づけてはいけないことを表しています。

〈強　　制〉　この記号の中に、具体的な必ず実行していただかなければならない強制内容が記入されています。

〈一　　般〉　この記号は、特定ないし一般的な必ず実行していただかなければならない強制内容であることを表しています。

〈電源プラグを抜く〉　この記号は、電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを表しています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■設置するときのご注意

警告

本製品は屋内用として設計されております。屋外への設置、屋外での使用はおやめください。▪
火災、感電、漏電、故障の原因となります。

本製品を壁や天井に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付けてください。
落下による、ケガ、故障、破損の原因となります。

設置の際の壁への穴あけ、接続ケーブルを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけないようにご注意ください。▪
火災、感電、漏電の原因となります。

水平でない場所や衝撃、振動が加わる恐れのある場所には設置しないでください。
落下や衝撃、振動によるケガ、故障、破損の原因となります。

本製品のレンズに太陽光線などの強い光が進入する状態で設置、使用または保管しないでください。
レンズの集光作用により、火災やカメラの損傷の原因となります。

使用環境温度0～40℃、湿度20～80%を守り、結露しない場所に設置してください。
使用環境温度、湿度がこの範囲を超えたり、結露が発生すると火災、感電、故障の原因となります。

結露とは、急な温度変化により空気中の水蒸気が金属板などの表面に付着し、水滴となる現象です。本製品を寒い場所から急に暖かい場所に移動させたようなときには、本体内部に結露が発生し、故障の原因となりますので、温度差の大きい場所へ移動した場合は、すぐに使用しないでください。
万一、結露した場合は、電源を切った状態で放置しておき、完全に乾燥してから電源を入れてください。

引火、爆発の恐れのある場所や、照明器具や暖房器具の近く、直射日光のあたる場所など高温となるような場所には設置しないでください。また、火気を近付けないでください。
火災、故障、変形、変色の原因となります。

水や油などの液体、薬品、ホコリ、湯気、油煙などのかかる場所には設置しないでください。また、殺虫剤のような揮発性や引火性のあるものをかけたりしないでください。
レンズの集光作用により、火災やカメラの損傷の原因となります。

注意

強い電波や磁気の発生する場所に設置しないでください。
強い電波や磁気の発生する場所（電波塔の近くやモーターのそばなど）で使用すると画像のゆがみや雑音が生じたり、強い干渉を受け、故障の原因となります。

ラジオやテレビの近接に設置しないでください。
まれに受信障害を引き起こす恐れがあります。

■ご使用に際してのご注意

危険

本製品の分解、修理、改造は絶対にしないでください。
弊社指定業者以外の人は、絶対に、分解、修理、改造を行わないでください。
火災、感電、漏電、ケガ、故障、破裂の原因となります。

発熱、発煙、異臭、異音がするなどの異常事態が生じた場合や、落下などにより破損した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

本体カメラやACアダプターおよび接続ケーブルなどを濡らさないでください。
また、本製品内部や各コネクターなどに水などの液体や、金属などの異物を入れないでください。水や異物が入った場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電、漏電、故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。
タコ足配線などで、定格を越えると、火災の原因となったり、電力使用量がオーバーしてブレーカーが落ち、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。

交流100V以外での使用はしないでください。また、付属のACアダプター以外は使用しないでください。
付属のACアダプターを他の機器や他の目的には絶対に使用しないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

警告

本製品の取り扱いはていねいに行ってください。
落下させたり、強い衝撃や振動を与えたり、投げつけたりしないでください。持ち運びや移動の際にもご注意ください。
火災、感電、漏電、ケガ、故障、破損の原因となります。

濡れた手では絶対に触れないでください。また、濡れた手でACアダプターやケーブルの抜き差しは行わないでください。
感電の原因となります。
ACアダプターや接続ケーブルを抜き差しするときは、必ずプラグやコネクターを持って抜き差しを行ってください。プラグやコネクターにホコリや液体、異物などがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、ぐらぐらするコンセントは使用しないでください。
火災、感電、漏電の原因となります。

ACアダプターのコードやプラグ、接続ケーブルやコネクターを傷つける、破損する、強い衝撃を与える、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなどはしないでください。また、重いものを載せる、踏みつける、ドア等に挟み込む、熱器具に近づけるなどはしないでください。
万一、コードやプラグ、ケーブルやコネクターが傷んだ場合は絶対に使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、漏電の原因となります。

ACアダプターのプラグのホコリなどは定期的に除去してください。
プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となりますので、プラグをコンセントから抜いた上、乾いた布で拭き、ホコリなどを除去してください。

通気孔をふさがないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
火災、故障の原因となります。

雷が鳴ったらACアダプターや本製品に触れないでください。
雷による、感電の原因となります。

長時間無人で使用する場合は、必ず定期的に保守・点検を行ってください。
本体カメラや電源プラグの間にたまったホコリやごみにより（または水がついて）ショートすると、火災、感電、漏電の原因となります。

長時間ご使用にならないときや、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜き、本体カメラに接続されている各種ケーブルを取り外してください。
火災、感電、漏電、故障の原因となります。

電子レンジや乾燥機、高圧容器などに本製品を入れないでください。
火災、ケガ、故障、損傷の原因となります。

注意

保管の際は、電源プラグをコンセントから抜き、本体に接続されている各種ケーブルを取り外した状態で保管してください。
故障の原因となります。

乳幼児の手の届かないところに保管してください。
ケガなどの原因となります。

湿気やホコリの多い場所や、直射日光が当たる場所、熱器具の近く、夏季の窓を締め切った室内、自動車の中など異常に温度が高くなる場所に保管または放置しないでください。
破裂、変形、故障の原因となります。

環境温度0～40℃、湿度20～80%の範囲を守り、結露しない場所に保管してください。
変形や、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

■前面　　■背面

<table>
<tr><th></th><th>名称</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>①</td><td>状態表示LED（STATUS）</td><td>動作状態を表示します。
各種動作の状態は以下のとおりです。
<table>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">UPnP</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>設定中</td><td>正常</td><td>設定OFF</td></tr>
<tr><td rowspan="4">DDNS</td><td>登録中</td><td>橙点滅</td><td colspan="2">橙点灯</td></tr>
<tr><td>正常</td><td>緑点滅</td><td colspan="2">緑点灯</td></tr>
<tr><td>異常</td><td>赤点滅</td><td colspan="2">赤点灯</td></tr>
<tr><td>設定OFF</td><td>緑点滅</td><td colspan="2">緑点灯</td></tr>
<tr><td colspan="2">DHCPエラー</td><td colspan="3">赤⇔橙の交互点滅</td></tr>
<tr><td colspan="2">システム起動中</td><td colspan="3">消灯</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>②</td><td>カメラ</td><td>レンズ部のリングを回転させて、フォーカスを調整できます。
反時計回り：近接方向
manual focus
時計回り　：無限遠方向</td></tr>
<tr><td>③</td><td>電源LED（POWER）</td><td>本製品の電源の状態を表示します。
電源ON時　：緑点灯
電源OFF時　：消灯</td></tr>
<tr><td>④</td><td>内蔵マイク</td><td>周辺の音声を取り込みます。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>ソフトウェアリセットスイッチ</td><td>設定値をお買い上げ時の状態(工場出荷時値)に戻します。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>三脚取り付け穴</td><td>JIS B7103 1/4規格に適合した三脚取り付け用ネジに対応しています。</td></tr>
</table>

■側面

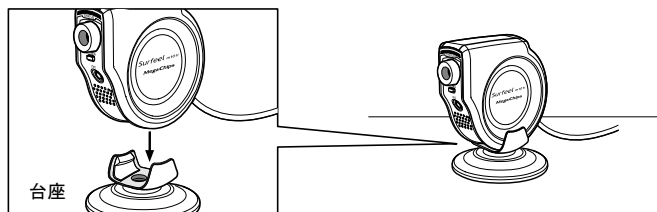
■台座および台座裏面

	名称	詳細
④	LANポート	LANケーブルを接続します。
⑤	DCコネクター	同梱のACアダプターのDCプラグを接続します。
⑥	壁掛け用穴	壁などに設置する際に、ネジを引っ掛けます。 ※　固定用の取り付けネジは同梱されていません。 お客様の方でご用意ください。

■設置について

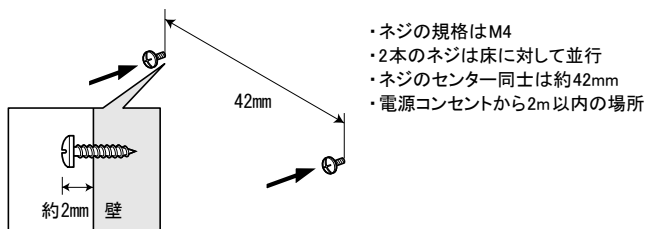
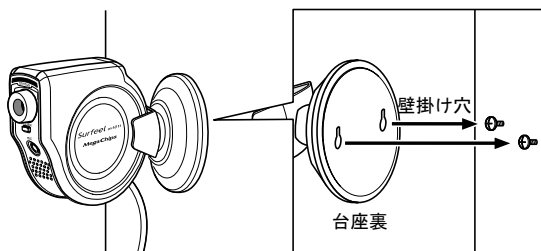
本製品は机の上などの平らな場所や、壁などに取り付けられたネジに引っ掛けて設置することができます。

机の上などの平らな場所に設置する場合

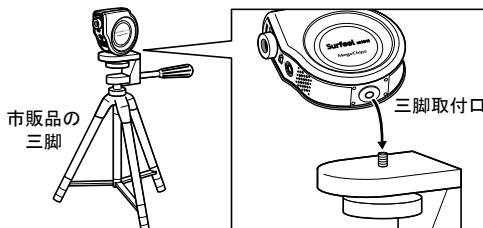
本体に付属の台座を取り付けて、台座部分を下にして、平らな面の上に設置します。

壁などにかける場合

設置場所の壁や柱に、本製品を引っ掛けるためのネジを2本取り付けます。
※　ネジは同梱されておりません。

1 本製品を取り付ける壁の位置を決めます。2本のネジを以下のように壁に取り付けます。

・ネジの規格はM4
・2本のネジは床に対して並行
・ネジのセンター同士は約42mm
・電源コンセントから2m以内の場所

2 本製品の台座の裏の穴を、取り付けたネジに引っ掛けます。

三脚に取り付ける場合

本製品は以下の部材を利用して取り付けることができます。

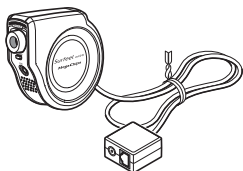
・ 一般的な市販の三脚(JIS B 7103 1/4規格のネジが使用されていること)
・ 三脚取付用ネジ(JIS B 7103 1/4規格)が使われている市販のブラケット

注意

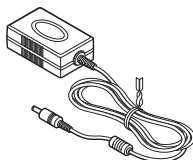
・壁にネジを取り付ける際は、壁に十分な厚みと強度があることを確認した上で、堅固・確実に取り付けてください。
・壁にネジを取り付ける際は、必ず2本の取り付けネジを使用してください。
・壁に取り付けた本製品のそばを通るときは、ぶつかったり、物をぶつけないように注意してください。

2 準備する

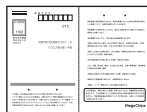
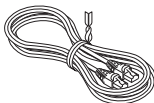
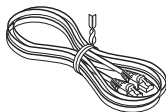
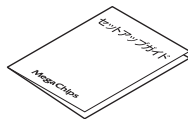
1 箱の中身を確認する

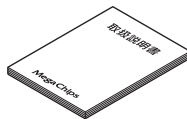
ご使用になられる前に、箱の中に以下のものがすべて入っていることを確認してください。

☐ **本体**

☐ **台座**

☐ **ACアダプター**

☐ **LANストレートケーブル(白)**

☐ **LANスクロスケーブル(赤)**

☐ **保証書兼ユーザー登録カード**

☐ **簡単セットアップガイド**

☐ **セットアップCD-ROM**

☐ **取扱説明書(本書)**

すべてのものが揃っていることを確認したら、保証書兼ユーザー登録カードをキリトリ線で切り離し、ユーザー登録カードの必要事項を記載の上、お買い上げ後30日以内に返送してください。
保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

必要なものを準備する

本製品をご利用いただくためには、以下の機器および環境が必要となります。

・ｉアプリ対応携帯電話機器（※1）　(高速iアプリの場合)FOMA 900i以降
(標準iアプリの場合)FOMA 2102V、N2701、2051
MOVA 504i以降
・インターネット常時接続環境(ADSL、FTTH光ファイバー等)(※2)
・UPnP対応のブロードバンドルーター(※3)
・パソコン(パソコンで本製品の画像を見る場合のみ必要です)

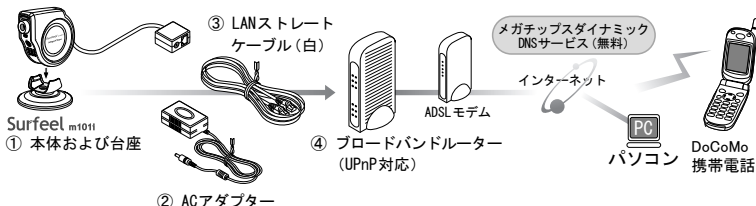
対応クライアントOS(※4)	Windows 98SE、Windows 2000 SP4、Windows ME、Windows XP Home Edition SP2、Windows XP Professional Edition SP2
対応WEBブラウザ(※4)	Internet Explorer 6.0 SP1以降
プロトコル	TCP/IPプロトコルがインストールされていること
LANインターフェース	10/100BASE-TXのEthernetが内蔵または装着され正常に動作していること
推奨動作環境	CPU　:Intel PentiumⅢ/Celeron 1GHz以上 メモリー　:256MB以上

※1　iモードのお申し込みが必要です。対応携帯電話機器については製品ホームページをご覧ください。
※2　一部のインターネット接続環境では、ご使用になれない場合がございます。
※3　動作確認ルーターについては、製品ホームページをご覧ください。
※4　日本語版のみ。

注意　携帯電話／パソコンご利用時の通信料金について

●携帯電話で見る場合
通常のｉモード料金同様、月額およびご利用時パケット通信料が発生します。FOMA900iで本製品の動画を1分間見た場合、パケット通信料が約1,400円※かかります。お客様におかれましてはパケット通信料が毎月定額の「パケ・ホーダイ」にご加入いただくことをお勧めします。
※FOMAパケットパックなしの場合の参考料金です。

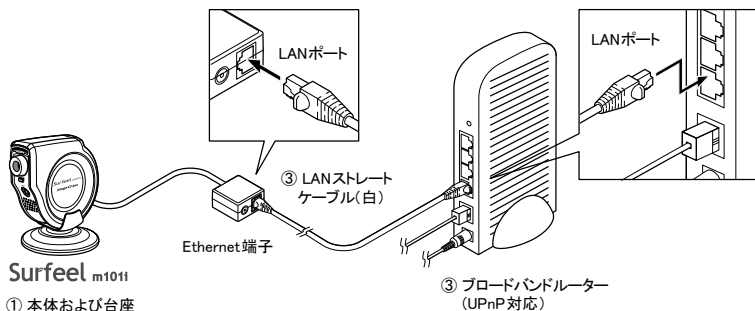
●パソコンで見る場合
パソコンをインターネット接続する環境が必要です。ダイアルアップ接続の場合は、別途プロバイダーへの接続料金、通信料等が発生する場合があります。詳しくはご利用のプロバイダー様にご確認ください。

以下の接続例を参考にして、必要なものを準備します。

ルーターにSurfeelを接続する

注意

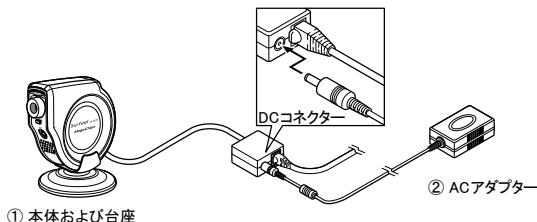
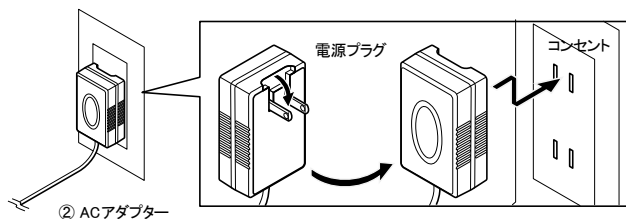
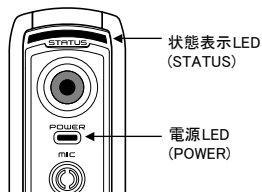
接続する前に…

ご購入後はじめてご使用になる際には、同梱の取扱説明書の巻頭に記載しております『ソフトウェア使用許諾契約』および『メガチップスダイナミックDNSサービス利用規約』を必ずお読みください。

本製品（①）のEthernet端子に、付属のLANストレートケーブル（③）の一方を差し込み、もう片方をお手持ちのブロードバンドルーター（④）のLANポートに差し込みます。

4 Surfeelの電源を入れる

注意

本体の電源を入れる前に、必ず先に本体とルーターをLANストレートケーブルで接続してください（前項③「ルーターにSurfeelを接続する」を参照）。
本体とルーターが接続されていない状態で電源を入れる（電源を入れた後で本体をルーターと接続する等）と、本体は正常に起動しません。このような場合は、再度、前項③「ルーターにSurfeelを接続する」の操作から行ってください。

1 本体にACアダプターを接続します。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 本体前面の状態表示LED(STATUS)と電源LED(POWER)が緑色に点灯します。

注意

状態表示LED(STATUS)は、DHCP、UPnP、ダイナミックDNSが正常に動作しているかどうかを以下のように表示します。

		UPnP		
		設定中	正常	設定OFF
DDNS	登録中	橙点滅	橙点灯	
	正常	緑点滅	緑点灯	
	異常	赤点滅	赤点灯	
	設定OFF	緑点滅	緑点灯	
DHCPエラー		赤⇔橙の交互点滅		
システム起動中		消灯		

電源を切るときは、コンセントから電源プラグを引き抜きます。

3 ケータイで使う

ケータイからSurfeelに接続する

ここでは、通常本製品に携帯電話から接続する方法を記載してあります。
お買い上げ後初めて本製品に接続する場合や、お買い上げ時の状態(工場出荷時)の設定に戻した後で接続する場合は、必ず同梱の『簡単セットアップガイド』にしたがって、操作してください。

1 携帯電話のブラウザのURL入力画面で、本製品のURLを入力します。

http://xxxxxxxxxxxxxxx.mcscbb.jp:56789/i/

この部分はダイナミックDNSの「ホスト名」になります。

注意

URLの入力方法は、各種携帯電話の取扱説明書等をご覧ください。
ダイナミックDNSの「ホスト名」は、お買い上げ時および工場出荷時の設定に戻された場合は、本体のシリアルNo.(S/N)が設定されています。

2 認証ダイアログが表示されます。
「UserID」に「admin」または登録されたユーザーを、「Password」に登録されたパスワードを入力し、「OK」ボタンを押します。

※ 携帯電話の機種により、画面のイメージが異なる場合があります。

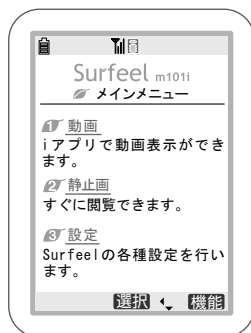
注意

インターネット回線の状況やiモード網の混雑などにより、認証画面が表示されるまでに時間がかかったり表示されない場合があります。このようなときは、しばらくしてから再度**1**の手順から操作を行ってください。

3 ご使用になられる携帯電話の機種に応じて選択して押します。

FOMA 900i以降、MOVA 505i以降の携帯電話をご使用の方は、
「1 Flash版メニュー」を、
DoCoMo製iモード対応の携帯電話をご使用の方は、
「2 HTML版メニュー」を
押してください。

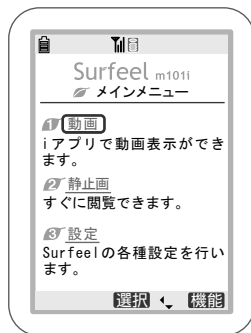
4 メニュー画面が表示されます。

Flash版メニュー画面

HTML版メニュー画面

2 ケータイで動画を見る

携帯電話から本製品に接続して、ライブ映像を見ることができます。

1 メニュー画面の「1 動画」を押します。

Flash版メニュー画面

HTML版メニュー画面

2 iアプリの起動確認ダイアログが表示されます。「YES」ボタンを押します。

3 メニューダイアログが表示されます。「ライブ映像」を押します。

高速iアプリで動画閲覧

標準iアプリで動画閲覧

4 認証ダイアログが表示されます。
「UserID」に「admin」または登録されたユーザーを、
「Password」に登録されたパスワードを入力し、「OK」ボタンを押します。

注意 インターネット回線の状況やiモード網の混雑などにより、認証画面が表示されるまでに時間がかかったり表示されない場合があります。このようなときは、しばらくしてから再度**1**の手順から操作を行ってください。

5 画像が表示されます。

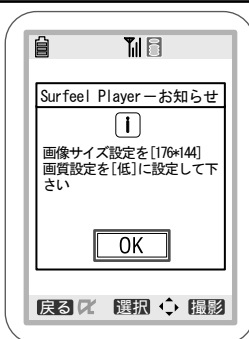
高速iアプリで動画閲覧

標準iアプリで動画閲覧

注意

携帯電話から本製品に接続して動画を見る場合は、画像サイズ(解像度)が「176×144」、画質は「低」のみの設定となります。それ以外の設定にしていると、お知らせウィンドウが表示されます。この場合は以下の①もしくは②のどちらかの手順にしたがって設定を変更してから、再度接続してください。

① カメラ設定を「自動設定」にする。
「OK」を押してメニューダイアログに戻り、「オプション設定」を押してオプション設定画面にて、「カメラの自動設定」で「カメラの自動設定を行う」を選択して設定します。

② メニュー画面の「3 設定」の「カメラ設定」において、画質を「低」、解像度を「176×144」に設定します。

②-1 画像をズームして見る

高速iアプリにて動画閲覧を行う場合は、画像を最大8倍まで拡大して表示することができます。
携帯電話のカーソルを右に押すと拡大され、左に押すと縮小されます。

カーソルキーが有効のときに、「← →」(矢印)は表示されます。

②-2 画像を反転する

高速iアプリにて動画閲覧を行う場合は、画像を反転して表示することができます。携帯電話の「0」キーを押すと画像が反転表示されます。再度「0」キーを押すと、元に戻ります。

②-3 画像を撮影する

ライブ映像の画像を撮影して、静止画を保存することができます。撮影した静止画は、メニューダイアログの「フォトフォルダ」に保存されます。

1 ライブ映像画面で「撮影」ボタンを押します。

高速iアプリで動画閲覧

標準iアプリで動画閲覧

注意　「フォトフォルダ」に保存できる画像は、高速iアプリの場合は最大20枚、標準iアプリの場合は最大5枚です。ただし、画像ファイルの大きさや携帯電話の機種により、保存できる枚数が少なくなる場合があります。

画像を撮影すると、高速iアプリの場合は静止画マークに枚数が表示されます。標準iアプリの場合は■が表示されます。

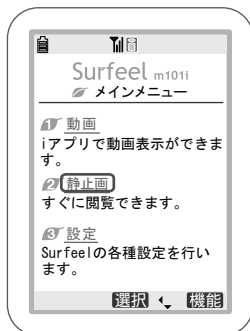
高速iアプリの場合

標準iアプリの場合

3 ケータイで静止画を見る

携帯電話から本製品に接続して、ライブ映像を静止画像として見ることができます。

1 メニュー画面の「2 静止画」を押します。

Flash 版メニュー画面

HTML 版メニュー画面

2 静止画像が表示されます。
「更新」を押す度に、最新の画像が画面に表示されます。

注意

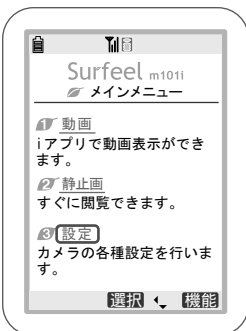
本製品の画像サイズ（解像度）が「640 × 480」で設定されている場合、携帯電話の機種によっては画像が表示できない場合あります。この場合は「携帯サイズに設定」を押すと、自動的に本製品の画像サイズ（解像度）を「176 × 144」に設定し、画像を表示します。
また、設定の変更は管理者権限が必要となるため、認証画面が表示される場合があります。

4 動きを検知して画像を自動で撮影する（モーション検知）

本製品が動きを検知した（モーション検知）時の映像を撮影し、指定したアドレスに撮影した画像を添付して送信することができます。

モーション検知機能は、日光や照明などを検知し誤動作する場合があります。
また、設定後必ず動作の確認を行った上でご使用ください。設定によっては、大量にメールを送信し膨大なパケット通信料が課金されたり、逆に動作しないなどの場合があります。
必ず変更した設定における動作を確認してから、ご使用ください。

1 メニュー画面の「3　設定」を押します。

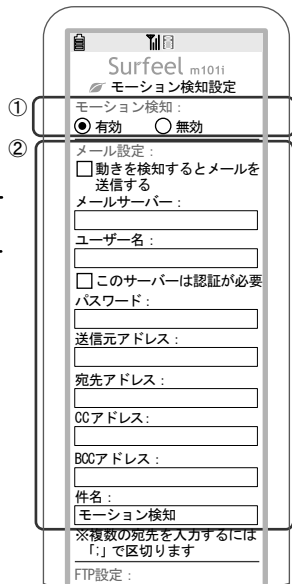
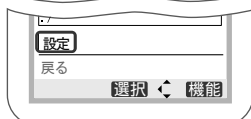
Flash版メニュー画面

HTML版メニュー画面

2 設定メニュー画面が表示されます。「モーション検知設定」を押します。

3 モーション検知設定画面が表示されます。

① 「モーション検知」を「有効」に設定します。

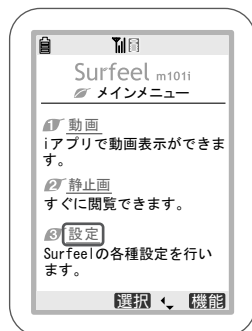
② 動きを検知した時に設定したメールアドレスに画像を添付してメールを送信する場合に設定します。

参考 モーション検知機能の設定値については、「5-4 モーション検知設定」(P.40)を参照してください。

4「設定」ボタンを押します。

5 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

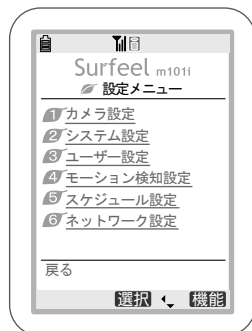
⑤ Surfeel の詳細な設定をする

携帯電話から本製品の詳細な設定を行うことができます。設定は、メニュー画面から「3　設定」を押します。

1 メニュー画面の「3　設定」を押します。

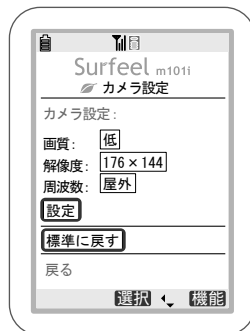
FLASH 版メニュー

HTML 版メニュー

2 設定メニュー画面が表示されます。設定するメニューを選択して、押してください。

カメラ設定	内蔵カメラに関する詳細な設定を行います。
システム設定	システムに関する詳細な設定を行います。
ユーザー設定	接続するユーザーに関する設定を行います。
モーション検知設定	モーション検知機能に関する設定を行います。
スケジュール設定	スケジュール動作に関する設定を行います。
ネットワーク設定	ネットワークに関する設定を行います。

⑤-1 カメラ設定

本製品のカメラに関する詳細な設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細
画質	画質を設定します。 高：圧縮率が最も低く、一番高画質です。 中：圧縮率、画質ともに標準程度です。 低：圧縮率が最も高く、一番低画質です。
解像度	画像データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量は多くなります。 （横×縦：ドット） 160x120：QQVGAサイズ 176x144：QCIFサイズ 320x240：QVGAサイズ 352x288：CIFサイズ 640x480：VGAサイズ 注意　表示可能なサイズは、携帯電話の機種により異なる場合があります。携帯電話で画像の閲覧をする場合は、「176×144」で設定することをお勧めします。
周波数	本製品を使用する地域の周波数を設定します。 屋外：使用する地域に関わらず、屋外を撮影する場合に使用します。 50Hz：東日本地域の室内で使用する場合に設定します。 60Hz：西日本地域の室内で使用する場合に設定します。 注意　50Hzもしくは60Hzの設定にすると、高照度環境では映像が白飛びする可能性があります。また、屋外を撮影する場合は必ず「屋外」に設定してください。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。
また、標準の設定値（画質「低」、解像度「176x144」、周波数「屋外」）に戻す場合は、「標準に戻す」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

5-2 システム設定

本製品のシステムに関する詳細な設定を行います。

Surfeel m101i
システム設定
カメラ名設定:
名称: Surfeel
設定
日付時刻設定:
NTPサーバー使用:
NTPサーバー:
ntp.nasa.gov
ユーザー指定:
手動設定:
日付: / /
時刻: : :
設定
HTTPポート設定:
HTTPポートを追加する
追加ポート: 50000
※50000～59999まで設定が可能です
※設定値を有効にするには再起動が必要になります
設定
再起動する
工場出荷時設定に戻す
戻る
選択 機能

1 各設定値を選択します。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>詳細</th></tr>
<tr><td>カメラ名設定</td><td>本製品の名称を設定します。最大で半角18文字、全角の場合は9文字まで設定できます。</td></tr>
<tr><td>日付時刻設定</td><td>NTPサーバーを使用して自動的に時刻を設定するか、手動で時刻を設定するかを選択できます。
NTPサーバー選択時:
NTPサーバー:
<table>
<tr><td>ntp.nasa.gov</td><td>アメリカNASAの提供しているNTPサーバー。</td></tr>
<tr><td>time.nist.gov</td><td>アメリカNISTの提供しているNTPサーバー。</td></tr>
<tr><td>time.windows.com</td><td>マイクロソフトが提供しているNTPサーバー。</td></tr>
<tr><td>(ユーザー指定)</td><td>その他のNTPサーバーのURLまたはIPアドレスを、半角英数字で63文字まで設定できます。</td></tr>
</table>
手動設定選択時:
日付: 年(00-99)/月(1-12)/日(1-31)を設定します。2003年1月1日以降の日付を設定してください。
時刻: 時(00-23):分(00-59):秒(00-59)を設定します。</td></tr>
<tr><td>HTTPポート設定</td><td>HTTPのポート番号を手動で追加設定します。チェックボックスにチェックを入れて、50000～59999の範囲で設定してください。</td></tr>
</table>

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

再起動をする場合は、「再起動する」ボタンを押してください。

お買い上げ時の状態(工場出荷時)に戻す場合は、「工場出荷時設定に戻す」ボタンを押してください。

注意

設定を工場出荷時設定に戻すと、自動的に再起動が始まりますので、ご注意ください。
また、すべての設定が初期化されますので、ご注意ください。

5-3 ユーザー設定

本製品に接続するユーザーについての設定を行います。

1 各設定値を選択します。

項目		説明
ユーザー認証		ユーザー認証を行うかどうかの設定を行います。 有効 : ユーザー認証を行います。 無効 : ユーザー認証を行いません。
ユーザー情報の追加 / 更新		最大で30ユーザーまで(「admin」を含む)の新しいユーザーの登録、また登録済みのユーザー情報を更新します。
	ユーザー	ユーザー名を 4 ～ 20 文字の半角英数字と「-」(ハイフン)および「_」(アンダースコア)で設定します。
	パスワード	ユーザーのパスワードを 4 ～ 20 文字の半角英数字と「-」(ハイフン)および「_」(アンダースコア)で設定します。
	パスワード(再)	入力ミスを防ぐため、「パスワード」で入力した文字を再度入力してください。
ユーザー情報の削除		現在登録されているユーザーを削除します。 現在登録されているユーザーが表示されますので、削除するユーザーを選択して「削除」ボタンを押してください。 注意 現在登録されているユーザーが「admin」しか存在しない場合は、「(削除できるユーザーがいません)」と表示されます。 「admin」は削除できません。
登録ユーザー一覧		現在登録されているユーザーをすべて表示します。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

注意 「ユーザー情報の追加 / 更新」および「ユーザー情報の削除」を設定する場合は、設定した後で「システム設定画面」に移動し、再起動を行ってください。再起動を行わなければ、新しい設定は有効になりません。

注意 ユーザー名やパスワードは第三者からの不正なアクセスを防止するためにも、定期的に変更されることをお勧めします。

⑤-4 モーション検知設定

動きを検知した時に画像を撮影し、画像を添付してメールを送信したり、FTPサーバーに画像を転送する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

Surfeel m101i
モーション検知設定
モーション検知:
◉有効　○無効
メール設定:
□動きを検知するとメールを送信する
メールサーバー:
ユーザー名:
□このサーバーは認証が必要
パスワード:
送信元アドレス:
宛先アドレス:
CCアドレス:
BCCアドレス:
件名:
モーション検知
※複数の宛先を入力するには「;」で区切ります
FTP設定:
□動きを検知するとFTPサーバーに画像を送信する
FTPサーバー:
ユーザー名:
パスワード:
ディレクトリ:
./
設定
戻る
選択　機能

設定項目	詳細	
モーション検知	モーション検知機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効:モーション検知機能を有効にします。 無効:モーション検知機能を無効にします。	
メール設定	動きを検知した時に静止画を撮影し、設定したメールアドレスに画像を添付してメールを送信します。設定するにはチェックボックスにチェックを入れてください。	
	メールサーバー	メールサーバーのアドレスを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】smtp.mcsc.jp
	ユーザー名	メールサーバーへアクセスするためのユーザー名を入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】megachips
	このサーバーは認証が必要	メールサーバーに認証が必要な場合はチェックボックスにチェックを入れてください。 ※本製品は、POP Before SMTPには対応しておりません。
	パスワード	メールサーバーへアクセスするためのパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	送信元アドレス	メールの送信元のメールアドレス(From)を設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】from@mcsc.jp
	宛先アドレス	メールの送信先のメールアドレス(To)を設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】to@mcsc.jp

設定項目	詳細	
	CCアドレス	CCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】cc@mcsc.jp
	BCCアドレス	BCCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】bcc@mcsc.jp
	件名	メールに表示される「件名」を設定できます。 半角30文字または全角15文字まで使用できます。 【例】モーション検知通知
FTP設定	動きを検知した時に静止画を撮影し、設定したFTPサーバーに画像を送信します。設定するには、チェックボックスにチェックを入れてください。 注意 FTPサーバーがパッシッブモードの場合、画像は転送できません。	
	FTPサーバー	FTPサーバーのアドレスを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】ftp.mcsc.jp
	ユーザー名	FTPのユーザー名を入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】megachips
	パスワード	FTPのパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	ディレクトリ	送信した画像をFTPサーバーに保存する場所(ディレクトリ)を設定します。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

注意 MOVAの各機種でモーション検知の通知メールを受け取る場合、添付ファイルが削除されます。FOMAの場合でも、添付される画像ファイルのサイズによっては添付ファイルが削除される場合があります。

⑤-5 スケジュール設定

スケジュールにしたがって画像を撮影し、FTP サーバーへ転送する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
スケジュール動作	スケジュール機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効 : スケジュール機能を有効にします。 無効 : スケジュール機能を無効にします。	
設定時刻 1 設定時刻 2	設定した時刻および曜日に、設定した転送間隔で静止画を撮影し、FTP サーバーへ転送します。	
	時刻	FTP への転送を有効とする時刻の範囲を、時 (00–23) : 分 (00–59) で設定します。
	曜日	FTP への転送を有効とする曜日を設定します。チェックボックスにチェックを入れてください。
	転送間隔・(分)	設定した時刻・曜日の範囲内で、FTP 転送を行う転送間隔を 1 ～ 1440 分の範囲で指定設定します。設定します。
	FTP 設定	FTP に画像を転送する場合の、FTP の設定をします。設定するには、チェックボックスにチェックを入れてください。
	FTP サーバー	FTP サーバーのアドレスを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】ftp.mcsc.jp
	ユーザー名	FTP のユーザー名を入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】megachips
	パスワード	FTP のパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	ディレクトリ	送信した画像を FTP サーバーに保存する場所 (ディレクトリ) を設定します。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

5-6 ネットワーク設定

ネットワークに関する設定を行います。ネットワーク設定には、
- 有線 LAN 設定
- ダイナミック DNS 設定
- UPnP 設定

の 3 つの設定があります。

⑤-6-1 有線LAN設定

有線LANに関する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
IPアドレス設定	IPアドレスの設定を行います。DHCPによる自動取得、手動設定のどちらかを選択し、チェックを入れてください。	
	DHCPによる自動取得	DHCPサーバーによりIPアドレスを自動取得する場合に設定します。
	手動設定	手動でIPアドレスを設定します。
	IPアドレス: Surfeelに割り当てるIPアドレスを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000～255.255.255.255です。	
	サブネットマスク: 割り当てるサブネットマスクを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000～255.255.255.255です。	
	デフォルトゲートウェイ: ルーターなどのゲートウェイアドレスを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000～255.255.255.255です。	
	プライマリーDNSサーバー: プライマリーDNSサーバーを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000～255.255.255.255です。	
	セカンダリーDNSサーバー: セカンダリーDNSサーバーを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000～255.255.255.255です。	

設定項目	詳細	
メール通知	DHCPにより自動取得したIPアドレスを、設定されたメールアドレスに通知する設定です。有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。 IPアドレス設定が「DHCPによる自動取得」設定時のみ有効です。	
	メールサーバー	メールサーバーのアドレスを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】smtp.mcsc.jp
	ユーザー名	メールサーバーへアクセスするためのユーザー名を入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】megachips
	このサーバーは認証が必要	メールサーバーに認証が必要な場合はチェックボックスにチェックを入れてください。 ※本製品は、POP Before SMTPには対応しておりません。
	パスワード	メールサーバーへアクセスするためのパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	送信元アドレス	メールの送信元のメールアドレス(From)を設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】from@mcsc.jp
	宛先アドレス	メールの送信先のメールアドレス(To)を設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 255文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】to@mcsc.jp
	CCアドレス	CCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】cc@mcsc.jp
	BCCアドレス	BCCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】bcc@mcsc.jp
	件名	メールに表示される「件名」を設定できます。 半角30文字または全角15文字まで使用できます。 【例】IPアドレス取得通知

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

5-6-2 ダイナミックDNS設定

ダイナミックDNSに関する設定を行います。

Surfeel m101i
ダイナミックDNS設定
ダイナミックDNS設定：
有効　無効
シリアル番号（S/N）：
XXXXXXXXXXXXXXX
パスワード：
****
ホスト名：
XXXXXXXXXXXXXXX
.mcscbb.jp
サーバーへのアクセス間隔：
60分
設定
DDNSステータス：更新済み
戻る
選択　機能

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
ダイナミックDNSの設定	ダイナミックDNS機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効：ダイナミックDNS機能を有効にします。 無効：ダイナミックDNS機能を無効にします。	
	シリアル番号（S/N）	本製品のS/Nが表示されています。
	パスワード	メガチップスダイナミックDNSで使用するパスワードを設定します。 6～20文字の半角英数字と「-」（ハイフン）および「_」（アンダースコア）が使用できます。
	ホスト名	メガチップスダイナミックDNSで使用するホスト名を設定します。 3～16文字の半角英数字と「-」（ハイフン）および「_」（アンダースコア）が使用できます。
	サーバーへのアクセス間隔	メガチップスダイナミックDNSへ接続する時間間隔を10分、20分、30分、40分、50分、60分から選択して設定します。
DDNSステータス	DDNSの動作状態を表示します。 更新済み、更新失敗、更新中、オフライン	

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

⑤-6-3 UPnP 設定

UPnP に関する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
UPnP の設定	UPnP 機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効 : UPnP 機能を有効にします。 無効 : UPnP 機能を無効にします。	
ポート番号設定	UPnP でポートフォワード設定を行うポート番号を指定します。	
	ポート番号	「80」または、「ユーザー指定」を選択します。ユーザー指定の場合は、指定されたポート番号が反映されます。
	ユーザー指定	50000 ～ 59999 まで指定できます。 注意 UPnP ポート番号設定は、接続するルーターによっては、80 番ポートが自動的に開けない場合があります。
UPnP ステータス	UPnP の動作状態を表示します。 UPnP 設定中、UPnP 設定成功、UPnP 設定オフ	

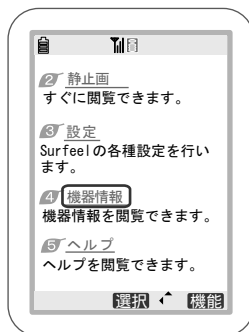
2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

6 Surfeelの情報を見る

携帯電話から本製品の機器情報を確認できます。

1 メニュー画面の「4　機器情報」を押します。

FLASH版メニュー

HTML版メニュー

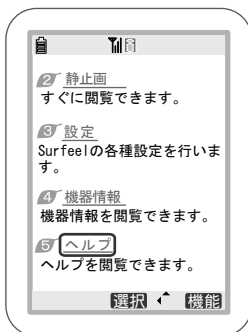
2 機器情報画面が表示されます。

メイン情報	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンを表示します。
シリアル番号(S/N)	製品のシリアル番号を表示します。
MACアドレス	製品のMACアドレスを表示します。
DHCP	有効/無効を表示します。
IPアドレス	現在設定されているIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在設定されているサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在設定されているデフォルトゲートウェイを表示します。
プライマリーDNSサーバー	現在設定されているプライマリー(優先)DNSサーバーのアドレスを表示します。
セカンダリーDNSサーバー	現在設定されているセカンダリー(代替)DNSサーバーのアドレスを表示します。
ダイナミックDNS	有効/無効および、有効時のURLを表示します。
UPnP	有効/無効および、有効時のポート番号を表示します。

Surfeel m101i
機器情報
ファームウェアバージョン：
Version 1.0.0
シリアル番号(S/N)：
MC0318400X00001
MACアドレス：
00:00:00:00:00:00
DHCP：
有効
IPアドレス：
192.168.133.001
機能

携帯電話から本製品のオンラインヘルプを見ることができます。

1 メニュー画面の「5　ヘルプ」を押します。

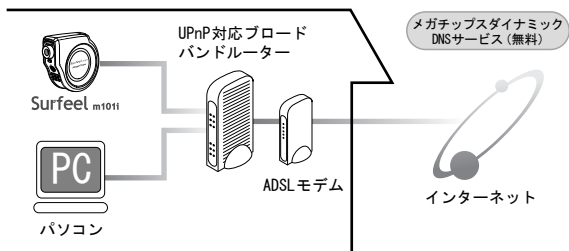
FLASH 版メニュー

HTML 版メニュー

2 ヘルプ画面が表示されます。

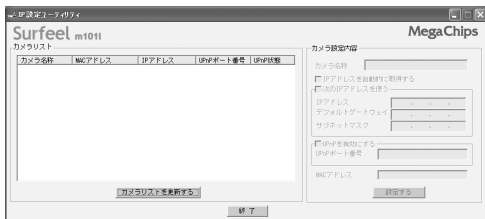
4 パソコンで使う

1 パソコンからSurfeelに接続する

1-1 同一ネットワーク上のパソコンから接続する

同じネットワーク上に本製品とパソコンを設置した場合は、本製品のアドレスがわからない場合も、同梱のセットアップCD-ROMを使用して本製品に接続することができます。

1 セットアップCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動でセットアップメニュー画面が表示されます。
「IP設定ユーティリティ」をクリックします。

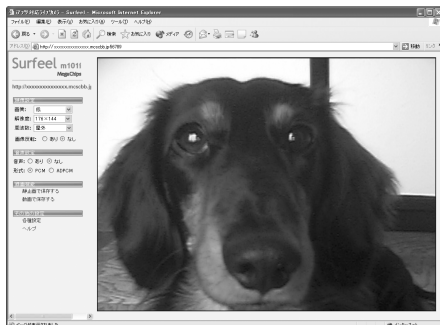
注意　自動で表示されない場合は、CD-ROMドライブのアイコン上で右クリックしてエクスプローラを選択し、「setup.exe」または「setup」アイコンをダブルクリックしてください。

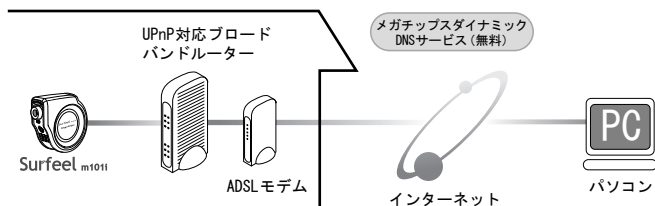
2 IP設定ユーティリティが起動します。
パソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されていると、カメラリストに表示されます。

注意　ネットワークへの接続や起動のタイミングにより、同一ネットワーク上に接続されているにも関わらず、カメラリストに表示されない場合があります。このような時は、「カメラリストを更新する」ボタンをクリックしてください。

参考　同一ネットワーク上に複数台のSurfeelが接続されている場合は、接続されているすべてのSurfeelが表示されます。

3 接続したいSurfeelをダブルクリックすると、Internet Explorerが起動し、認証ダイアログが表示されます。
「ユーザー名」に「admin」または登録されたユーザーを、「パスワード」に登録されたパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

注意
ネットワークの状況により、認証画面が表示されるまでに時間がかかったり表示されない場合があります。このようなときは、しばらくしてから再度**2**の手順から操作を行ってください。

4 パソコン用のTOPページが表示され、画像が表示されます。

1-2 インターネット上の外のパソコンから接続する

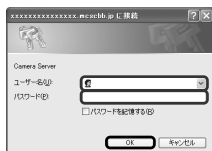
インターネットを介して本製品とパソコンを設置した場合は、携帯電話から本製品に接続する場合と同様に接続することができます。

重要
ここでは、通常本製品にパソコンから接続する方法を記載してあります。
お買い上げ後初めて本製品に接続する場合や、お買い上げ時の状態（工場出荷時）の設定に戻した後で接続する場合は、必ず同梱の『簡単セットアップガイド』にしたがって、操作してください。

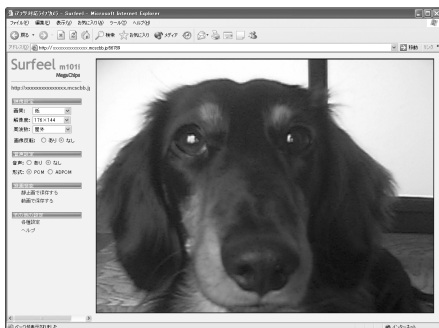
1 Internet Explorerを起動し、アドレスのテキスト入力ボックスに、本製品のURLを入力します。

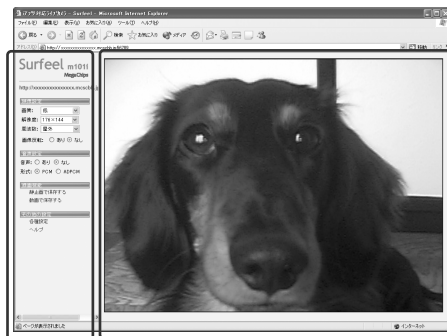
http://xxxxxxxxxxxxxxx.mcscbb.jp:56789/

この部分はダイナミックDNSの「ホスト名」になります。

注意　ダイナミックDNSの「ホスト名」は、お買い上げ時の状態(工場出荷時)の設定に戻した場合は、本体のシリアルNo.(S/N)が設定されています。

2 認証ダイアログが表示されます。
「ユーザー名」に「admin」または登録されたユーザーを、「パスワード」に登録されたパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

注意　インターネット回線の状況により、認証画面が表示されるまでに時間がかかったり表示されない場合があります。このようなときは、しばらくしてから再度**1**の手順から操作を行ってください。

3 パソコン用のTOPページが表示され、画像が表示されます。

② パソコンで動画を見る

パソコンから本製品に接続して、ライブ映像を見ることができます。パソコン用の TOP ページの「表示エリア」にライブ映像は表示されます。
ライブ映像を見ながら、「メニューエリア」の設定を変更することができます。

「メニューエリア」　「表示エリア」

②-1 画質、解像度、周波数を変更する

ライブ映像の画質、解像度を変更することができます。
また、周波数を設定できます。

設定項目	詳細
画質	画質を設定します。 高 : 圧縮率が最も低く、一番高画質です。 中 : 圧縮率、画質ともに標準程度です。 低 : 圧縮率が最も高く、一番低画質です。
解像度	画像データの画素数を設定します。画素数が大きいほどデータ量は多くなります。(横 × 縦 : ドット) 160x120 : QQVGA サイズ 176x144 : QCIF サイズ 320x240 : QVGA サイズ 352x288 : CIF サイズ 640x480 : VGA サイズ
周波数	本製品を使用する地域の周波数を設定します。 屋外 : 使用する地域に関わらず、屋外を撮影する場合に使用します。 50Hz : 東日本地域の室内で使用する場合に設定します。 60Hz : 西日本地域の室内で使用する場合に設定します。 注意　50Hz もしくは 60Hz の設定にすると、 高照度環境では映像が白飛びする可能性があります。 また、 屋外を撮影する場合は必ず「屋外」に設定してください。

②-2 画像を反転する

画像を反転して表示することができます。チェックを入れると、表示エリアの画像が切り換わります。

設定項目	詳細
画像反転	画像の反転表示を切り替えます。 あり : 画像を反転して表示します。 なし : 画像を通常の状態で表示します。

②-3 音声を聞く

パソコンから操作する場合のみ、音声を受信することができます。

設定項目	詳細
音声	音声の受信を行うかどうかを設定します。 有効 : 音声の受信を行います。 無効 : 音声の受信を行いません。
形式	音声データの圧縮形式を設定します。 PCM　　: PCM形式で受信します。 ADPCM : ADPCM形式で受信します。PCM形式より圧縮されているため、データ量が少なくなります。

②-4 画像を静止画で保存する

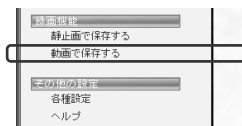
現在表示エリアで表示されている画像を静止画で保存します。

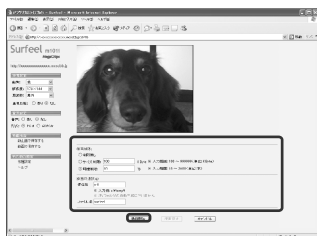
1 メニューエリアの「静止画で保存する」をクリックします。

2 静止画ファイルの保存先選択ダイアログが表示されます。
保存先を選択し、ファイル名を指定して保存します。

②-5 画像を録画する

ライブ映像を録画することができます。ライブ映像を見ながら、画面上のボタンをクリックして録画を開始します。

1 メニューエリアの「動画で保存する」をクリックします。

2 表示エリアが上下2つに分割され、上段にライブ映像が、下段に設定項目が表示されます。
「録画制限」と「録画共通設定」を設定して、「録画開始」ボタンをクリックします。

「録画停止」ボタンをクリックすると、録画は終了します。また、「キャンセル」ボタンをクリックすると、TOPページに戻ります。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">詳細</th></tr>
<tr><td rowspan="4">録画制限</td><td colspan="2">録画を行う際の条件をチェックボックスにチェックを入れて設定します。
録画されたデータは、下段の「録画先共通設定」を行ったパソコンのハードディスク内に保存されます。</td></tr>
<tr><td>制限なし</td><td>10000フレームごとにファイルを作成して保存します。「録画停止」ボタンがクリックされるまで録画は継続されます。</td></tr>
<tr><td>サイズ制限</td><td>設定したサイズになるか、「録画停止」ボタンがクリックされるまで継続します。設定可能なデータサイズは100～999999 KByteです。</td></tr>
<tr><td>時間制限</td><td>設定した時間になるか、「録画停止」ボタンがクリックされるまで継続します。設定可能な録画時間は10～3600 秒です。</td></tr>
</table>

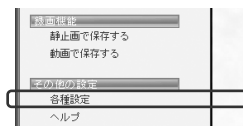
設定項目	詳細	
録画共通設定	録画データの保存先に関する設定をします。	
	保存先	録画データを保存するパソコンのローカルフォルダを指定します。 注意 ローカルフォルダは自動的には作成されません。必ず録画を行う前に、作成しておいてください。
	ファイル名	保存される録画データの「ファイル名」の先頭の文字を指定することができます。ファイル名には、指定された文字に続いて時間情報が追加されます。設定できる先頭の文字は最大で半角20文字、または全角10文字まででです。 例えば、「ファイル名」を「surfeel」と設定した場合、 2004年12月31日の2時48分51秒390から録画が開始された録画データのファイル名は、 「surfeel_2004_12_31_2_48_51_390.avi」 となります。

3 動きを検知して画像を自動で撮影する（モーション検知）

本製品が動きを検知した（モーション検知）時の映像を撮影し、指定したメールアドレスに撮影した画像を添付して送信したり、指定したFTPサーバーに画像を送信することができます。

重要

モーション検知機能は、日光や照明などを検知し誤動作する場合があります。
また、設定後必ず動作の確認を行った上でご使用ください。設定によっては、大量にメールを送信し膨大なパケット通信料が課金されたり、逆に動作しないなどの場合があります。
必ず変更した設定における動作を確認してから、ご使用ください。

1 メニューエリアの「各種設定」をクリックします。

2 メニューエリアに「詳細設定メニュー」が表示されます。
「モーション検知設定」をクリックします。

ユーザー設定
機能設定
モーション検知設定
スケジュール設定
ネットワーク設定

3 表示エリアにモーション検知設定画面が表示されます。

① 「モーション検知」を「有効」に設定します。

② 動きを検知した時に設定したメールアドレスに画像を添付してメールを送信する場合に設定します。

③ 動きを検知した時に設定したFTPサーバーに画像を送信する場合に設定します。

> 参考 モーション検知機能の設定値については、「5-2-1 モーション検知設定」(P.63)を参照してください。

4 「設定」ボタンをクリックします。

④ 日時を指定して画像を自動で撮影する(スケジュール撮影)

設定された日時の画像を自動で撮影し、指定したFTPサーバーに画像を送信することができます。

1 メニューエリアの「各種設定」をクリックします。

2 メニューエリアに「詳細設定メニュー」が表示されます。「スケジュール設定」をクリックします。

3 表示エリアにスケジュール設定画面が表示されます。

① 「スケジュール動作」を「有効」に設定します。

② スケジュールを設定します。

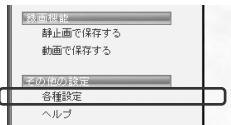
③ 転送するFTPサーバーを設定します。

> 参考 スケジュール機能の設定値については、「5-2-2 スケジュール設定」(P.65)を参照してください。

4 「設定」ボタンをクリックします。

5 Surfeelの詳細な設定をする

パソコンで本製品の詳細な設定を行うことができます。設定は、パソコン用のTOPページからメニューエリアの「各種設定」をクリックします。

1 TOPページのメニューエリアの「各種設定」をクリックします。

2 メニューエリアに「詳細設定メニュー」が表示されます。設定するメニューを選択して、クリックしてください。

システム設定		
	システム設定	システムに関する詳細な設定を行います。
	ユーザー設定	接続するユーザーに関する設定を行います。
機能設定		
	モーション検知設定	モーション検知機能に関する詳細な設定を行います。
	スケジュール設定	スケジュール動作に関する設定を行います。
ネットワーク設定		
	有線LAN設定	有線LANに関する詳細な設定を行います。
	ダイナミックDNS設定	ダイナミックDNSに関する設定を行います。
	UPnP設定	UPnPに関する設定を行います。
ステータス設定		
	ログを見る	ログ情報を表示します。
	機器情報	機器情報を表示します。
	ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

5-1 システム設定

本製品のシステムやユーザーに関する詳細な設定を行います。

5-1-1 システム設定

本製品のシステムに関する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細
カメラ名設定	本製品の名称を設定します。最大で半角18文字、全角の場合は9文字まで設定できます。
日付時刻設定	NTPサーバーを使用して自動的に時刻を設定するか、手動で時刻を設定するかを選択できます。 NTPサーバー選択時 : NTPサーバー : ntp.nasa.gov：アメリカNASAの提供しているNTPサーバー。 time.nist.gov：アメリカNISTの提供しているNTPサーバー。 time.windows.com：マイクロソフトが提供しているNTPサーバー。 （ユーザー指定）：その他のNTPサーバーのURLまたはIPアドレスを、半角英数字で63文字まで設定できます。 手動設定選択時 : 日付 :　年(00-99)/月(1-12)/日(1-31)を設定します。2003年1月1日以降の日付を設定してください。 時刻 :　時(00-23) : 分(00-59) : 秒(00-59)を設定します。
HTTPポート設定	HTTPのポート番号を手動で追加設定します。チェックボックスにチェックを入れて、50000～59999の範囲で設定してください。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンをクリックします。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

再起動をする場合は、「再起動する」ボタンを押してください。

お買い上げ時の状態(工場出荷時)に戻す場合は、「工場出荷時設定に戻す」ボタンを押してください。

注意

設定を工場出荷時設定に戻すと、自動的に再起動が始まりますので、ご注意ください。
また、すべての設定が初期化されますので、ご注意ください。

5-1-2 ユーザー設定

本製品に接続するユーザーについての設定を行います。

1 各設定値を選択します。

項目		説明
ユーザー認証		ユーザー認証を行うかどうかの設定を行います。 有効 : ユーザー認証を行います。 無効 : ユーザー認証を行いません。
ユーザー情報の追加／更新		最大で30ユーザーまで（「admin」を含む）の新しいユーザーの登録、また登録済みのユーザー情報を更新します。
	ユーザー	ユーザー名を 4 ～ 20 文字の半角英数字と「-」（ハイフン）および「_」（アンダースコア）で設定します。
	パスワード	ユーザーのパスワードを 4 ～ 20 文字の半角英数字と「-」（ハイフン）および「_」（アンダースコア）で設定します。
	パスワード（再）	入力ミスを防ぐため、「パスワード」で入力した文字を再度入力してください。
ユーザー情報の削除		現在登録されているユーザーを削除します。 現在登録されているユーザーが表示されますので、削除するユーザーを選択して「削除」ボタンを押してください。 注意 現在登録されているユーザーが「admin」しか存在しない場合は、「(削除できるユーザーがいません)」と表示されます。 「admin」は削除できません。
登録ユーザー一覧		現在登録されているユーザーをすべて表示します。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンを押します。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

注意

「ユーザー情報の追加／更新」および「ユーザー情報の削除」を設定する場合は、設定した後で「システム設定画面」に移動し、再起動を行ってください。再起動を行わなければ、新しい設定は有効になりません。

注意

ユーザー名やパスワードは第三者からの不正なアクセスを防止するためにも、定期的に変更されることをお勧めします。

⑤-2 機能設定

モーション検知機能およびスケジュール機能に関する詳細な設定を行います。

⑤-2-1 モーション検知設定

動きを検知した時に画像を撮影し、画像を添付してメールを送信したり、FTPサーバーに画像を転送する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
モーション検知	モーション検知機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効 : モーション検知機能を有効にします。 無効 : モーション検知機能を無効にします。	
メール設定	動きを検知した時に静止画を撮影し、設定したメールアドレスに画像を添付してメールを送信します。設定するにはチェックボックスにチェックを入れてください。	
	メールサーバー	メールサーバーのアドレスを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】smtp.mcsc.jp
	ユーザー名	メールサーバーへアクセスするためのユーザー名を入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】megachips
	このサーバーは認証が必要	メールサーバーに認証が必要な場合はチェックボックスにチェックを入れてください。 ※本製品は、POP Before SMTPには対応しておりません。
	パスワード	メールサーバーへアクセスするためのパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	送信元アドレス	メールの送信元のメールアドレス(From)を設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】from@mcsc.jp
	宛先アドレス	メールの送信先のメールアドレス(To)を設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】to@mcsc.jp
	CCアドレス	CCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】cc@mcsc.jp

設定項目	詳細
	BCCアドレス：BCCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】bcc@mcsc.jp
	件名：メールに表示される「件名」を設定できます。 半角30文字または全角15文字まで使用できます。 【例】モーション検知通知
FTP設定	動きを検知した時に静止画を撮影し、設定したFTPサーバーに画像を送信します。設定するには、チェックボックスにチェックを入れてください。 注意 FTPサーバーがパッシップモードの場合、画像は転送できません。
	FTPサーバー：FTPサーバーのアドレスを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】ftp.mcsc.jp
	ユーザー名：FTPのユーザー名を入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】megachips
	パスワード：FTPのパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	ディレクトリ：送信した画像をFTPサーバーに保存する場所(ディレクトリ)を設定します。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンをクリックします。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

5-2-2 スケジュール設定

スケジュールにしたがって画像を撮影し、FTP サーバーへ転送する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
スケジュール動作	スケジュール機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効 : スケジュール機能を有効にします。 無効 : スケジュール機能を無効にします。	
設定時刻 1 設定時刻 2	設定した時刻および曜日に、設定した転送間隔で静止画を撮影し、FTP サーバーへ転送します。	
	時刻	FTP への転送を有効とする時刻の範囲を、時 (00−23) : 分 (00−59) で設定します。
	曜日	FTP への転送を有効とする曜日を設定します。チェックボックスにチェックを入れてください。
	転送間隔・(分)	設定した時刻・曜日の範囲内で、FTP 転送を行う転送間隔を 1 ～ 1440 分の範囲で指定設定します。設定します。
	FTP 設定	FTP に画像を転送する場合の、FTP の設定をします。設定するには、チェックボックスにチェックを入れてください。
	FTP サーバー	FTP サーバーのアドレスを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】ftp.mcsc.jp
	ユーザー名	FTP のユーザー名を入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】megachips
	パスワード	FTP のパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	ディレクトリ	送信した画像を FTP サーバーに保存する場所 (ディレクトリ) を設定します。

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンをクリックします。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

⑤-3 ネットワーク設定

本製品のネットワークに関する詳細な設定を行います。ネットワーク設定には、
- 有線 LAN 設定
- ダイナミック DNS 設定
- UPnP 設定

の 3 つの設定があります。

⑤-3-1 有線 LAN 設定

有線 LAN に関する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
IP アドレス設定	IP アドレスの設定を行います。DHCP による自動取得、手動設定のどちらかを選択し、チェックを入れてください。	
	DHCP による自動取得	DHCP サーバーにより IP アドレスを自動取得する場合に設定します。
	手動設定	手動で IP アドレスを設定します。
	IP アドレス	Surfeel に割り当てる IP アドレスを設定します。 設定可能範囲は、 000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 です。
	サブネットマスク	割り当てるサブネットマスクを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 です。
	デフォルトゲートウェイ	ルーターなどのゲートウェイアドレスを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 です。
	プライマリー DNS サーバー	プライマリー DNS サーバーを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 です。
	セカンダリー DNS サーバー	セカンダリー DNS サーバーを設定します。 設定可能範囲は、000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 です。
メール通知	DHCP により自動取得した IP アドレスを、設定されたメールアドレスに通知する設定です。有効にする場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。IP アドレス設定が「DHCP による自動取得」設定時のみ有効です。	
	メールサーバー	メールサーバーのアドレスを入力します。 半角英数字 63 文字まで使用できます。 【例】mail.sys.megachips.co.jp
	ユーザー名	メールサーバーへアクセスするためのユーザー名を入力します。 半角英数字 63 文字まで使用できます。 【例】megachips

設定項目	詳細	
	このサーバーは認証が必要	メールサーバーに認証が必要な場合はチェックボックスにチェックを入れてください。 ※本製品は、POP Before SMTPには対応しておりません。
	パスワード	メールサーバーへアクセスするためのパスワードを入力します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】mcs1234
	送信元アドレス	メールの送信元のメールアドレス(From)を設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】from@mcsc.jp
	宛先アドレス	メールの送信先のメールアドレス(To)を設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 255文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】to@mcsc.jp
	CCアドレス	CCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】cc@mcsc.jp
	BCCアドレス	BCCメールの転送先アドレスを設定します。複数の宛先を設定する場合は、「;」で区切って設定します。 63文字までの半角英数字および記号を使用できます。 【例】bcc@mcsc.jp
	件名	メールに表示される「件名」を設定できます。 半角30文字または全角15文字まで使用できます。 【例】IPアドレス取得通知

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンをクリックします。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

注意 IP アドレス設定を変更した場合、「設定」ボタンをクリックすると自動的に再起動が始まります。

5-3-2 ダイナミックDNS 設定

ダイナミックDNS に関する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細
ダイナミックDNS の設定	ダイナミックDNS 機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効 : ダイナミックDNS 機能を有効にします。 無効 : ダイナミックDNS 機能を無効にします。

設定項目	詳細	
	シリアル番号（S/N）	本製品のS/Nが表示されています。
	パスワード	メガチップスダイナミックDNSで使用するパスワードを設定します。 6～20文字の半角英数字と「-」（ハイフン）および「_」（アンダースコア）が使用できます。
	ホスト名	メガチップスダイナミックDNSで使用するホスト名を設定します。 3～16文字の半角英数字と「-」（ハイフン）および「_」（アンダースコア）が使用できます。
	サーバーへのアクセス間隔	メガチップスダイナミックDNSへ接続する時間間隔を10分、20分、30分、40分、50分、60分から選択して設定します。
DDNSステータス	DDNSの動作状態を表示します。 更新済み、更新失敗、更新中、オフライン	

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンをクリックします。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

5-3-3 UPnP設定

UPnPに関する設定を行います。

1 各設定値を選択します。

設定項目	詳細	
UPnPの設定	UPnP機能を有効にするかどうかの設定を行います。 有効：UPnP機能を有効にします。 無効：UPnP機能を無効にします。	
ポート番号設定	UPnPでポートフォワード設定を行うポート番号を指定します。	
	ポート番号	「80」または、「ユーザー指定」を選択します。ユーザー指定の場合は、指定されたポート番号が反映されます。
	ユーザー指定	50000～59999まで指定できます。 注意 UPnPポート番号設定は、接続するルーターによっては、80番ポートが自動的に開けない場合があります。
UPnPステータス	UPnPの動作状態を表示します。 UPnP設定中、UPnP設定成功、UPnP設定オフ	

2 選択した設定値を保存する場合は「設定」ボタンをクリックします。

3 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

5-4 ステータス設定

本製品の様々な情報を表示します。

5-4-1 ログを見る

本製品のログを表示します。

カメラログ

メイン情報	追加情報	クライアントIPアドレス	クライアントMACアドレス	時刻
カメラ起動				2004年10月25日 19:59:06
UPnP開始				2004年10月25日 19:59:09
UPnP設定中・・・	失敗			2004年10月25日 19:59:14
UPnP設定完了				2004年10月25日 19:59:41
クライアント接続		192.168.11.4	00:10:A4:84:3C:7E	2004年10月25日 20:35:07
クライアント接続		211.12.79.206		2004年10月25日 20:42:17
UPnP設定中・・・	失敗			2004年10月25日 20:44:23
UPnP設定完了				2004年10月25日 20:45:54

項目	詳細
メイン情報	ログの情報を表示します。
追加情報	設定の情報(結果)を表示します。
クライアントIPアドレス	設定や閲覧に関するクライアントのIPアドレスを表示します。
クライアントMACアドレス	設定や閲覧に関するクライアントのMACアドレスを表示します。
時刻	ログの時刻情報を表示します。

メイン情報	内容
カメラ起動	カメラが起動したことを表示します。
ユーザー設定	ユーザー設定が行われたことを表示します。
ユーザー削除	ユーザーが削除されたことを表示します。
ユーザー認証設定変更	ユーザー認証設定が変更されたことを表示します。
解像度変更	解像度が変更されたことを表示します。
画質変更	画質が変更されたことを表示します。
モーション検知設定変更	モーション検知の設定が変更されたことを表示します。
日付時刻設定変更	カメラの日付時刻が変更されたことを表示します。
カメラIPアドレス設定	カメラのIPアドレスが変更されたことを表示します。
HTTPポート設定	HTTPのポート番号が設定されたことを表示します。
カメラ名称変更	カメラ名が変更されたことを表示します。
UPnP開始	UPnPのポートマッピング設定が開始されたことを表示します。
UPnP設定中…	UPnPのポートマッピング設定が失敗し、再設定を開始したことを表示します。
UPnP設定完了	UPnP設定が完了されたことを表示します。
UPnP設定変更	UPnP設定が変更されたことを表示します。
FTP送信成功(モーション)	モーション検知でFTP送信されたことを表示します。
FTP送信失敗(モーション)	モーション検知でFTP送信が失敗したことを表示します。

メイン情報	内容
Mail 送信 (DHCP)	メール送信が成功したことを表示します。
Mail 送信 (モーション)	モーション検知でメール送信が成功したことを表示します。
Mail 送信失敗	メール送信処理が失敗したことを表示します。
D-DNS 登録中	ダイナミック DNS に登録設定中であることを表示します。
D-DNS 登録完了	ダイナミック DNS 登録が完了したことを表示します。
D-DNS 登録失敗	ダイナミック DNS 登録に失敗したことを表示します。
D-DNS オフライン	ダイナミック DNS 設定をオフラインにしたこと表示します。
D-DNS 設定変更	ダイナミック DNS 設定が変更されたことを表示します。
スケジュール設定変更	スケジュール設定が変更されたことを表示します。

5-4-2 機器情報を見る

本製品の機器情報を表示します。

メイン情報	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンを表示します。
シリアル番号 (S/N)	製品のシリアル番号を表示します。
MAC アドレス	製品の MAC アドレスを表示します。
DHCP	有効 / 無効を表示します。
IP アドレス	現在設定されている IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在設定されているサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在設定されているデフォルトゲートウェイを表示します。
プライマリー DNS サーバー	現在設定されているプライマリー (優先)DNS サーバーのアドレスを表示します。
セカンダリー DNS サーバー	現在設定されているセカンダリー (代替)DNS サーバーのアドレスを表示します。
ダイナミック DNS	有効 / 無効および、有効時の URL を表示します。
UPnP	有効 / 無効および、有効時のポート番号を表示します。

⑤-4-3 ヘルプを見る

オンラインヘルプを表示します。

5 その他

Surfeelの URLを変更する(ドメインの変更)

本製品のURLは、お買い上げ時は「http://xxxxxxxxxxxxxxx.mcscbb.jp;56789」(※「xxxxxxxxxxxxxxx」はシリアルNo.)です。このURLをお好きな名称に変更できます。

お客様のシリアルNo.は、本体背面のシール、もしくは保証書の裏に貼られているS/NおよびMACアドレスシールにてご確認いただけます。

1 携帯電話またはパソコンの「ダイナミックDNS設定」画面を表示します。

2 「ホスト名」を変更します。
ホスト名には、3～20文字の半角英数字と「-」(ハイフン)および「_」(アンダースコア)が使用できます。ただし、先頭の文字は半角英字で設定してください。

注意 お買い上げ時は、「ホスト名」には本製品のシリアルNo.が設定されています。

3 「設定」ボタンを押す、またはクリックします。

4 画面上部に「設定しました。」と表示されます。

注意 「ホスト名」を変更すると、それまで使用していたSurfeelのURLは使用できなくなります。

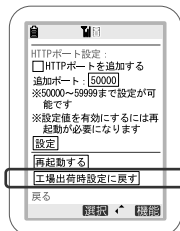
5 携帯電話の場合は、ブラウザのURL入力画面で、設定したURLを入力します。パソコンの場合は、Internet Explorerを起動し、アドレスのテキスト入力ボックスに設定したURLを入力します。

② お買い上げ時の状態(工場出荷時)に戻す

本製品の設定をお買い上げ時(工場出荷時)の状態に戻すことができます。

■設定画面上から操作する

1 携帯電話またはパソコンのシステム設定画面を表示します。

2 画面一番下の「工場出荷時設定に戻す」ボタンを押す、またはクリックします。

3 再起動中のメッセージが表示されます。

■ソフトウェアリセットスイッチを押す

1 本体底面のソフトウェアリセットスイッチを、クリップなどの先の細いピンで、8秒以上押し続けます。

2 電源LED (POWER) が点灯し、状態表示LED (STATUS) が消灯したら、ピンを離します。

注意

本製品Iをお買い上げ時(工場出荷時)の状態に戻した場合、「ホスト名」もシリアルNo.に戻ります。そのため、本製品に接続するURLもシリアルNo.に戻ります。

■工場出荷時値の一覧

カメラ設定

設定項目		設定値	初期値
映像設定	画質	高、中、低	低
	解像度	160×120、176×144、320×240、352×288、640×480	176x144
	周波数	屋外、50Hz、60Hz	屋外
	画像反転	有効、無効	無効(PC側にCookieとして保持)
音声設定	音声	有効、無効	無効(PC側にCookieとして保持)
	形式	PCM、ADPCM	PCM(PC側にCookieとして保持)
録画設定	静止画で保存する	(テキスト入力)	WebCamPic.jpg
	動画で保存する		
	録画制限設定	制限なし、サイズ制限、時間制限	時間制限(10秒)
	録画共通設定		
	保存先	(テキスト入力)	c:¥
	ファイル名	(テキスト入力)	surfeel

システム設定

設定項目		設定値	初期値
カメラ名設定		(テキスト入力)	Surfeel
日付時刻設定	NTPサーバー使用、手動設定		NTPサーバー使用(ntp.nasa.gov)
HTTPポート設定	HTTPポートを追加する	(チェックボックス)	(空白)
	追加ポート	(テキスト入力)	50000

ユーザー設定

設定項目	設定値	初期値
ユーザー情報	有効、無効	有効
ユーザー情報の追加/更新	(テキスト入力)	(空白)

モーション検知設定

設定項目		設定値	初期値
モーション検知		有効、無効	無効
メール設定	動きを検知するとメールを送信する	(チェックボックス)	(空白)
	メールサーバー	(テキスト入力)	(空白)
	ユーザー名	(テキスト入力)	(空白)
	このサーバーは認証が必要	(チェックボックス)	(空白)

モーション検知設定

設定項目		設定値	初期値
メール設定	送信元アドレス	（テキスト入力）	（空白）
	宛先アドレス	（テキスト入力）	（空白）
	CCアドレス	（テキスト入力）	（空白）
	BCCアドレス	（テキスト入力）	（空白）
	件名	（テキスト入力）	モーション検知通知
FTP設定	動きを検知するとFTPサーバーに画像を送信する	（チェックボックス）	（空白）
	FTPサーバー	（テキスト入力）	（空白）
	ユーザー名	（テキスト入力）	（空白）
	パスワード	（テキスト入力）	（空白）
	ディレクトリ	（テキスト入力）	./

スケジュール設定

設定項目		設定値	初期値
スケジュール動作		有効、無効	無効
設定時刻1	時刻	(時):(分)～(時):(分)(テキスト入力)	00:00～00:00
	曜日	月火水木金土日	なし
	転送間隔(分)	(テキスト入力)	1
設定時刻2	時刻	(時):(分)～(時):(分)(テキスト入力)	00:00～00:00
	曜日	月火水木金土日	なし
	転送間隔(分)	(テキスト入力)	1
FTP設定	設定した時間が来るとFTPサーバーに画像を送信する	（チェックボックス）	（空白）
	FTPサーバー	（テキスト入力）	（空白）
	ユーザー名	（テキスト入力）	（空白）
	パスワード	（テキスト入力）	（空白）
	ディレクトリ	（テキスト入力）	./

有線LAN設定

設定項目		設定値	初期値
IPアドレスの設定		DHCPによる自動設定、手動設定	DHCPによる自動設定
	IPアドレス	（テキスト入力）	0.0.0.0
	サブネットマスク	（テキスト入力）	0.0.0.0
	デフォルトゲートウェイ	（テキスト入力）	0.0.0.0
	プライマリーDNSサーバー	（テキスト入力）	0.0.0.0
	セカンダリーDNSサーバー	（テキスト入力）	0.0.0.0

有線LAN設定

設定項目		設定値	初期値
メール通知設定	DHCPで自動取得を完了するとメールを送信する	（チェックボックス）	（空白）
	メールサーバー	（テキスト入力）	（空白）
	ユーザー名	（テキスト入力）	（空白）
	このサーバーは認証が必要	（チェックボックス）	（空白）
	送信元アドレス	（テキスト入力）	（空白）
	宛先アドレス	（テキスト入力）	（空白）
	CCアドレス	（テキスト入力）	（空白）
	BCCアドレス	（テキスト入力）	（空白）
	件名	（テキスト入力）	IPアドレス取得通知

ダイナミックDNS設定

設定項目		設定値	初期値
ダイナミックDNSの設定		有効、無効	有効
	シリアル番号(S/N)	（変更不可）	製品のシリアル番号
	パスワード	（テキスト入力）	（非公開）
	ホスト名	（テキスト入力）	製品のシリアル番号
	サーバーへのアクセス間隔	10分、20分、30分、40分、50分、60分	60分

UPnP設定

設定項目		設定値	初期値
UPnPの設定		有効、無効	有効
ポート番号設定	ポート番号	80、ユーザー指定	ユーザー指定
	ユーザー指定	（テキスト入力）	56789

Surfeel Player（高速iアプリ）

設定項目		設定値	初期値
オプション設定	再生スピード	High、Low	有効
	自動切断	自動切断を行う、自動切断を行わない	自動切断を行う
	自動切断する時間	（テキスト入力）	60
	カメラの自動設定	カメラの自動設定を行う、カメラの自動設定を行わない	カメラの自動設定を行う

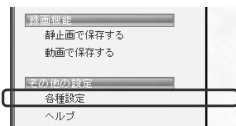
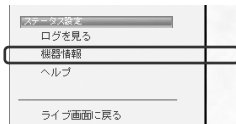
Surfeel Player(標準iアプリ)

設定項目		設定値	初期値
オプション設定	自動切断	する、しない	する
	自動切断する時間	(テキスト入力)	30
	カメラの自動設定	する、しない	しない

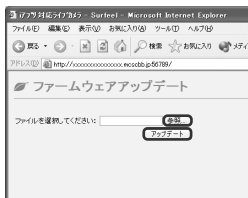
3 ファームウェアバージョンアップについて

ファームウェアバージョンアップはパソコンの画面でのみ、行うことができます。

注意 ファームウェアバージョンアップを行う際には、必ず本製品に接続しているユーザーがいないことを確認してから行ってください。

1 パソコン用のTOPページのメニューエリアの「各種設定」をクリックします。

2 メニューエリアに「詳細設定メニュー」が表示されます。「機器情報」をクリックします。

3 表示エリアに機器情報が表示されます。一番下の「ファームウェアアップデート」ボタンをクリックします。

4 ファームウェアアップデートの準備中画面が表示されますので、そのまま60秒お待ちください。

5 アップデートファイルの参照画面が表示されます。「参照」ボタンをクリックして、アップデートファイルを選択し、「アップデート」ボタンをクリックします。

6 ファームウェアアップデート画面が表示されます。「ファームウェアアップデートを行う」ボタンをクリックしてください。

7 アップデートが始まります。

8 アップグレードが完了したら、画面にしたがって再起動を行います。

4 お手入れについて

■本体のお手入れ

本製品の本体および台座の汚れは柔らかい布などで軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

注意 ベンジン・シンナーなどの薬品で拭いたり、日焼け止めクリームや化粧品が付着すると変色することがありますので、ご注意ください。

■レンズのお手入れ

本製品の本体のカメラ部分のレンズのお手入れは、カメラ用のブロワーで軽く拭き取るように行ってください。

注意 特に、砂やホコリの付着した状態では強く拭かないでください。レンズが傷つく恐れがあります。

■端子、プラグ、コネクターなどのお手入

端子、プラグ、コネクターなどに付着した汚れなどは、乾いた綿棒などでお手入れしてください。これらが汚れていると接触が悪くなり、正常に動作しない場合があります。

注意 お手入れの際は、必ず電源を切断してください。
電源プラグをコンセントから抜き、本製品に接続されている各種ケーブルなどを取りはずしてください。
火災、感電、漏電、故障の原因となります。

5 こんなときには…

本製品をご使用の際に困ったことが起きた場合は、以下を参考にしてください。
それでも解決できない場合は、製品ホームページをご覧ください。

付属品が足りません。

簡単セットアップガイドまたは取扱説明書(本書)の記載を参考に確認していただき、万が一不足しているものやケーブル類の破損がございましたら、速やかにご購入先または当社フィールドサポートまでご連絡ください。

電源LED(POWER)が点灯しません。

DCコネクターが十分にささっているか確認してください。またACアダプターが確実にコンセント等に差し込まれているか確認してください。お部屋のブレーカーを確認してください。

電源を確認しましたが電源LEDが点灯しません。

LANケーブルが接続された状態で電源を入れないと正しく起動できません。また、ブロードバンドルーターが正常に起動しているかを確認してください。LANケーブルの接続を確認した後で、ACアダプターをコンセントに接続してください。どうしてもダメな場合は、ブロードバンドルーターの電源を入れ直すか再起動を行ってください。

状態表示LED(STATUS)が緑になりません。

起動中は赤や橙に点滅し、完了までには時間がかかります。1分以上経過しても緑にならない場合は、本書をご覧の上、再度お試しください。

状態表示LED(STATUS)が緑になりましたがアクセスできません。

インターネット回線の状況等により、接続するまでに時間がかかる場合があります。しばらくしてからサイド接続してください。

携帯で画像を見ようすると「解像度を174x144、画質を低にしてください」と表示されます。

静止画の場合は「携帯サイズに設定」ボタンを押してください。iアプリでの動画閲覧の場合は、一度メニューダイアログのオプション設定画面にて「カメラの自動設定」で「カメラの自動設定を行う」に設定してください。

パソコンで閲覧している時、上下反転の状態で保存しても保存された動画・静止画は反転していません。

画像反転機能は、表示時のみ有効です。

携帯電話でメニューから静止画を見ようとしたところ、「1ページの最大サイズを越えたので中断しました」と表示されます。

画面上の「携帯サイズに変更」ボタンを押して解像度や画質を携帯向けに変更してくださ い。なお設定の変更は管理者の権限が必要です。

携帯電話でメニュー内を利用中「指定されたアプリがありません」と表示されます。

表示が完了する前に次の画面に進もうとすると処理が間に合わないため、そのような表示が出る場合があります。画像など表示が完了するのを待ってから、次の項目を選んでください。

iアプリをダウンロードしようとしたところ「ソフトに誤りがあります」と表示されます。

お使いの対応端末に合ったiアプリを選んでください。

iアプリでライブ映像を見るためにユーザー名とパスワードを入力すると、直後に「設定された時間が経過しました。Liveを終了させますか？」という表示が出ます。

iアプリのメニューダイアログのオプション設定画面において「自動切断をする」という設定になっています。接続直後から時間が計測されるため、ユーザー名とパスワードを入力している時間も接続時間として計測されていますので、入力後すぐに表示が出る場合があります。この表示が不要でしたらオプション設定画面において「自動切断をしない」という設定に変更してください。その場合は課金にご注意ください。

標準iアプリのメニューで「フォトフォルダ」が選べません。

1枚も静止画が撮影されてないと、対象となる画像が無いためフォトフォルダを選択することができません。ライブ映像を閲覧しながら、お好みの映像で「撮影」ボタンを押すと、静止画がiアプリ内に保存されます。

パソコンでSurfeelを閲覧しようとしたところ、ブラウザの画面が真っ白で何も表示されません。

ブラウザのセキュリティ設定が「高」になっていると表示ができません。セキュリティの設定を「既定のレベル」もしくは「中」に変更した上で、簡単セットアップガイドを参照してセキュリティの設定を変更してください。

パソコンで画像を閲覧しようとしたところ「現在のセキュリティの設定では、このページのActiveXコントロールは実行できません。そのため、このページは正確に表示されない可能性があります。」というダイアログウインドウが表示されます。

ブラウザのセキュリティ設定が変更されてない場合にこのような表示がでます。簡単セットアップガイドを参照の上、セキュリティの設定を変更してActiveXがインストールできるようにしてください。

パソコンで画像を閲覧しようとしたところ「ActiveXのダウンロードに失敗しました」というダイアログウインドウが表示されます。

ブラウザのセキュリティ設定が変更されてない場合に、インストールができないためこのように表示されます。簡単セットアップガイドを参照の上、セキュリティの設定を変更してActiveXがインストールできるようにしてください。

パソコンでライブ映像を閲覧しようとしたところ「ActiveXのインストールに失敗しました。付属のCDより、ActiveXをインストールして下さい。」と表示され映像が見えません。

本製品用のActiveXは、通常インターネット経由でお客様のパソコンにインストールされます。インターネットの混雑などでインストールできない場合、このような表示になります。この場合、お手数ですがインターネットの混雑が緩和されるまでお待ちいただくか、付属のセットアップCD-ROMによりActiveXをインストールしてください。

■本体仕様

項目		詳細	備考
圧縮方式	画像	JPEG	
	音声	PCM、ADPCM	モノラル
解像度		160x120 : QQVGAサイズ 176x144 : QCIFサイズ 320x240 : QVGAサイズ 352x288 : CIFサイズ 640x480 : VGAサイズ	
フレームレート		最大20fps	解像度設定・ネットワーク環境による
保存ファイル方式		動画 : AVI、静止画 : JPEG	
対応プロトコル		HTTP、FTP、SMTP、DNS、DHCP、NTP	
接続セッション数		最大10セッション	音声付動画配信時は、1ユーザーあたり2セッションを使用
推奨接続ユーザー数	映像のみ	7ユーザー	最大10ユーザー
	映像＋音声	3ユーザー	最大5ユーザー
外部入力デバイス	映像	CMOSセンサーカメラモジュール×1	
	音声	モノラルマイクモジュール×1	
内蔵LAN	通信方式	Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T	
	コネクタ	RJ-45コネクタ×1	
外部スイッチ		ソフトウェアリセットスイッチ×1	
LED表示	電源確認用	緑×1	POWER LED
	設定確認用	赤/橙/緑×1	STATUS LED
電源電圧		DC5V	ACアダプター　定格DC5V/2A
消費電力		約3W	動画配信時の消費電力
外形寸法		約32(W)×93(D)×85(H)mm	本体のみ
製品重量		約260g	本体(ケーブル含む)および台座
使用環境温度		0～40℃	屋外での利用は動作保証外
使用環境湿度		20～80%	結露しないこと
対応規格		VCCI ClassA	

■内部カメラ仕様

項目	仕様	備考
撮像素子	1/4インチCMOSセンサー	
有効画素数	VGAサイズ(640×480画素)	30万画素
画角	水平58度、垂直43.5度	
レンズF値	F2.6	
フォーカス	マニュアルフォーカス	
フォーカス範囲	10cm～∞	
ホワイトバランス	オート	
最低対応照度	約5Lx	被写体の環境が暗い場合、画像にノイズが目立つようになります。